

## つばさ新聞

問題：南極観測隊員は南極にどうやって行くのでしょうか？正解は……『船で行く！』です。南極大陸は周囲を厚い氷で覆われているため、氷を割って進むことができる特別仕様の船でしか行くことができません。現在日本南極観測隊では初代南極観測船『宗谷』から数えて4代目になる『しらせ』がその役割を担っています。しらせは観測隊の輸送・研究任務のために建造された日本唯一の砕氷船で、海上自衛隊が運用しています。観測隊員はオーストラリアのフリーマントル港から乗船しますが、南氷洋から定着氷領域に入ると、ラミング（船を一度後退させた後に全速前進して氷に乗り上げ船の重さで氷を砕く航法）を行いながら進んでいきます。僕が乗船した51次隊では、昭和基地に着くまでの3週間で、計2042回のラミングを行いました。苦勞に 苦勞を重ねて、ようやく南極大陸に到着するのです。



▲氷を割って進むしらせ

▲氷を割って進んだ跡

▲しらせ艦上にて1



▲しらせ艦上にて2



▲ラミングによりできた船体の傷

## &lt;告知&gt;

岡田院長は第51次南極観測隊員としての講演を幅広くお受けしております。講演のご依頼はつばさクリニック上畑までご連絡ください。



## 理事長コメント

今年も暑い季節がやってきました。毎年この時期の気温と日差しは、患者さんにとっても、訪問診療に取り組む我々にとっても大変な季節になります。皆様、夏本番に向け、体調管理にはお気をつけください。我々も、移動の合間にこまめに水分補給をしながら、夏を乗り切りたいと思います。

さて、当院はこの夏新たなスタッフが入職しました。新たな部門として、『在宅での食支援』をはじめ準備が整い、管理栄養士のスタッフも加わりました。（詳しくは内側のページをご覧ください。）

患者さんによりよい在宅生活を過ごしてもらう為には、「食」「栄養」は非常に重要なテーマだと考えています。これまでの診療においても、病気や医療処置があっても、少しでも口から食べたい、食べさせてあげたいという思いに直面する場面や、栄養状態の悪化から床ずれができた患者さんを少なからず診てきました。そういった方々の思いに応えたいと考え、取り組みをはじめ「在宅での食支援」ですが、まだまだ活動としては動き始めたばかりですので、皆様の温かいご指導・ご鞭撻を頂ければ幸いです。

（医療法人つばさ理事長 中村幸伸）

## 『患者様へのお知らせ』

平成29年8月から、70歳以上の方の高額療養費制度における上限額が変わります。（※69歳以下の方は従来通りです。）詳しくは官公庁の通知をご覧ください。当院の診療費に関しては、当院会計担当までお問合せ下さい。



## 医療法人つばさ

## つばさクリニック

診療科目 訪問診療 内科 循環器科  
呼吸器科 整形外科  
定期訪問 午前9時～午後5時  
緊急往診 24時間対応  
住所 倉敷市大島534-1  
電話番号 086-424-0283  
HP www.tsubasa-clinic.net

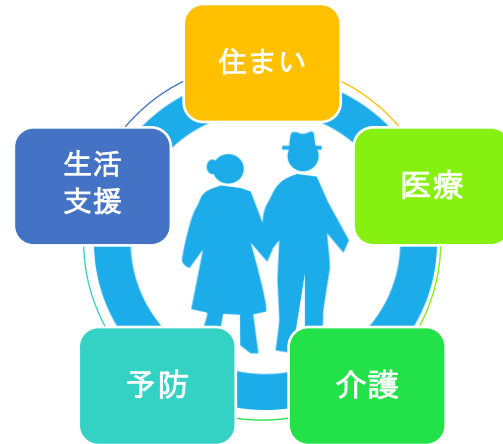
## つばさクリニック岡山

診療科目 訪問診療 内科 小児科  
定期訪問 午前9時～午後5時  
緊急往診 24時間対応  
住所 岡山市北区奉還町1-7-7  
電話番号 086-254-0283  
HP www.tsubasa-okayama.net

# 在宅医療四方山話 ～在宅療養を支える診療所～

団塊の世代が75歳を迎える「2025年問題」にむけて少子高齢化が進む現在の日本。いつまでも住み慣れた場所・環境で過ごすために、国は地域ごとに【住まい】【医療】【介護】【予防】【生活支援】の提供体制を構築する「地域包括ケアシステム」を進めつつ、多方面に様々な施策を取っています。診療所においても、医療が必要な方の地域での生活を支えるために、様々な制度が作られてきました。2006年には24時間往診可能な「在宅療養支援診療所」が、昨年在宅医療・訪問診療を専従的に実施する「在宅専門診療所」や、居宅での麻薬・鎮静などを実施できる「在宅緩和ケア充実診療所」が制度化されています。（つばさクリニック・つばさクリニック岡山ともに上記すべての届け出をしています。）

これらは届出をすれば誰でも認められるというわけではなく、年間一定数以上の緊急往診を実施した実績や、在宅緩和ケア充実診療所に関しては「緩和ケア研修を修了した医師が在籍していること」など、いずれも認可には一定の基準があります。厚生労働省が発表している「医療計画に係る医療法の改正の主な経緯について」においては、直近の内容の中に平成23年「在宅医療の充実等を内容とする医療サービス体制の制度改革に取り組む」平成26年「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進する」という要旨があり、国としても在宅医療を推進する方向性を持ち、このような在宅医療を支える診療所の制度を整えています。



▲地域包括ケアは中学校区(約1万人)規模の中で様々なサービスが提供できることを理想にしています。

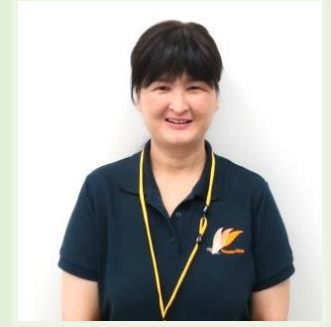
# 新入職スタッフ紹介

つばさクリニック岡山に7月から  
管理栄養士と看護師が  
入職しました！  
どうぞよろしくお願いいたします。



管理栄養士：  
梅木 麻由美

ご本人・家族の思いをお聞きし、生活環境を踏まえた食支援をします。



看護師：  
小泉 知子

ケアマネ、デイサービスなどを経験してきました。医療現場は久しぶりですが、頑張ります！



## 在宅の管理栄養士は何をなのでしょう？

### ●どんなことをするの？

介護保険もしくは医療保険を利用し月2回の訪問栄養指導を行います。

- ・食事摂取量、栄養状態、身体状態を確認します。
- ・状態に合わせた食事内容、食形態などの提案を行います。
- ・栄養補助食品、介護用食品等の紹介を状況に合わせて行います。
- ・必要に応じて一緒に調理を行います。
- ・その他、ご利用者様、ご家族様の食事・栄養に関するお困り事の解決に取り組みます。

### ●どんな人が利用できる？



通院が困難な方



低栄養の方（食欲がない、体重が減った等）



褥瘡がある方



咳が増えたり、嘔むことや飲み込みが難しい方



糖尿病 腎臓病 心疾患 貧血などの特別な食事管理が必要な方



がんの方

## Kurashiki Home-care Meeting

### 倉敷ホームケアミーティング

開催日 毎月第3金曜日18：30～19：30  
対象 医療・介護・福祉に関わる皆様  
参加費 無料  
会場 倉敷商工会議所（倉敷市白楽町249-5）

詳しくはつばさクリニックまでお問い合わせ下さい。



### カフェつばさ

開催日 毎月不定日19：00～20：00（詳しくはHPをご覧ください）  
対象 医療・介護・福祉に関わる皆様  
参加費 無料  
会場 オルガビル2F カフェグレン（岡山市北区奉還町1-7-7）

詳しくはつばさクリニック岡山までお問い合わせ下さい。